



原水爆禁止 2017 年世界大会ー長崎に参加 核兵器禁止条約採択で活みなぎる大会！

8 月 7 日～9 日に“原水爆禁止 2017 年世界大会ー長崎”が開催され、建交労神奈川県本部からは神奈川県南支部特別執行委員の赤羽数幸氏が参加しました。

開会総会には、国連の中満泉・軍縮担当上級代表、各国政府・海外代表、反核・平和団体をはじめ 6000 人が集い開催会場は参加者であふれました。

今年 7 月 7 日に国連で核兵器禁止条約が採択された歴史的到達点のなかで開催された世界大会は、安斎育郎さん（主催者代表）、中満泉さん、海外代表、被爆者、田上富久長崎市長をはじめ、どの発言も確信と希望に満ちて参加者を励ました。

開会総会の勢いは、2 日目の行動、最終日の閉会総会ー長崎デー集会（7000 人が参加）へと継続され、閉会総会では、核兵器禁止条約を採択した国連会議の議長・エレン・ホワイトさんからの激励のメッセージが届くサプライズもあり、「核廃絶を実現する行動提起」、2017 年世界大会・長崎決議、特別決議が採択されて閉会しました。



世界大会と結合した長崎県本部のとりくみ

建交労長崎県本部では、原水爆禁止世界大会と結合した独自の取り組みを行っています。その一つは、長崎県本部の先輩が原発や戦災などによって身寄りがなくなった組合員のために建立した墓前「敬崩（けいほう）」で 8 日の朝に行う墓前祭です。

今年の墓前祭には、中里委員長をはじめ長崎県本部の役員・組合員の他に角田中央執行委員長、鹿児島県本部 2 名、神奈川県本部の赤羽氏が参列しました。また墓前祭



には毎年、日本宗教者平和協会事務局長の森さん（浄土真宗大谷派）と建交労大分県本部副委員長の林さん（浄土真宗大谷派の安養寺住職）の参加を得て供養をして頂いています。

行動の 2 つ目は 8 日の夕刻に行う“原水禁世界大会・建交労交流会 in 長崎”です。今年の交流会では原爆被害の実相と原水禁運動の原点などを記録した貴重なフィルムも紹介されました。

核廃絶求めるヒバクシャ国際署名の推進を

平均年齢 81 歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。

神奈川県南支部のなかまは「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（別紙）をすべての組合員と家族、友人・知人などに広げましょう。

被爆者は
核兵器廃絶を心から求めます



いわさきちひろ チューリップとあかちゃん（1971 年）



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名 前	住 所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031

--